

① 制度の概要

みどりの食料システム戦略の実現に向けて、産地に適した「環境にやさしい栽培技術」と「省力化に資する先端技術等」を取り入れた「グリーンな栽培体系」への転換を加速化するため、産地に適した技術を検証し、定着を図る取組を支援する制度です。

環境負荷低減と省力化を両立させた新たな栽培体系の普及により、持続可能な農業の実現を目指します。産地の特性に応じた技術検証から実用化まで一貫して支援し、農業現場での実践的な取組拡大を促進します。

② 支援内容

□ グリーンな栽培体系の検討・消費者理解醸成

検討会開催、技術検証、マニュアル作成、産地戦略策定等の取組

最大460万円

補助率：定額

□ スマート農業機械等導入

検証に必要なスマート農業機械等の導入・リース導入

最大1,000万円

補助率：1/2以内

◎ 対象となる取組

【検討・検証】

- グリーンな栽培体系の検討会開催
- 環境にやさしい栽培技術の効果検証
- 省力化技術の導入効果分析
- 専門家による技術研修の実施

【成果物作成】

- グリーンな栽培マニュアル作成
- 産地戦略の策定と情報発信
- 消費者理解醸成の取組実施

● 対象者

- 協議会（農業者参加必須）
- 都道府県・市町村
- 農業協同組合

③ 採択率向上のポイント

- **産地適性の明確化**：地域特性に応じた技術選定
- **環境効果の定量化**：数値による効果測定計画
- **継続性の担保**：事業終了後の普及戦略
- **体制構築**：多様な関係者の参画確保

△ 戰略的分析

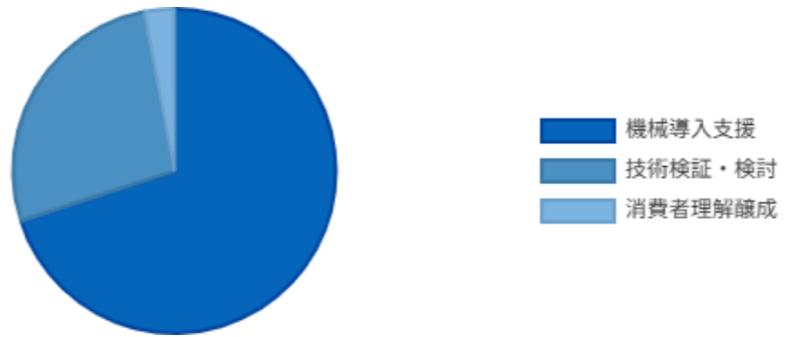
【技術選定戦略】

- 複数技術組合せで上限額360万円
- スマート農業認定で100万円加算
- 機械導入は最大1,000万円まで可能

【段階的実施戦略】

- 基礎検証から実用化へのロードマップ
- 複数年度事業による継続支援
- 産地内普及から横展開へ発展

● 事業予算の配分



機械導入枠（2022-2024年）：全体予算の約70%を占める主要支援
平均活用額：約650万円（検討・機械の複合事業）

◆ 技術分野と取組例

技術分野	代表的な取組例
土壤改良	バイオ炭活用、緑肥導入
病害虫防除	UV-B照射、生物農薬活用
施肥効率化	土壤診断、流し込み追肥
省力化	直播技術、機械化体系
ICT活用	センサー、ドローン技術

● 専門家活用のススメ

- **技術選定支援**：産地適性に応じた技術組合せ
- **計画策定支援**：効果測定と目標設定の最適化
- **体制構築支援**：関係者ネットワークの形成
- **成果物作成**：マニュアル・戦略の品質向上

④ 必要書類とチェックポイント

提出書類	チェックポイント
事業実施計画書	<ul style="list-style-type: none"> □ 技術検証内容を具体的に記載 □ 環境負荷低減効果を数値化 □ 事業終了後の普及計画を明記
収支予算書	<ul style="list-style-type: none"> □ 機械導入は補助率1/2の適用確認 □ 定額部分と補助部分の区分明記
協議会規約	<ul style="list-style-type: none"> □ 農業者参加を明記した構成員名簿 □ 普及組織・JA営農指導の関与
機械導入計画	<ul style="list-style-type: none"> □ 検証目的との整合性確認 □ 複数社見積による価格妥当性

⑤ 申請スケジュール

● 事前準備

協議会設立・体制構築に3~6ヶ月。
技術選定と関係者調整が重要。

● 要望調査

現在は実施していません
要望調査日程は農林水産省HPで随時お知らせ。

● 審査・採択

要望調査後2~3ヶ月程度

● 交付決定

採択後、交付決定通知により事業開始

● 事業実施

複数年事業可能
マニュアル・戦略策定は目標年度までに完成必須

▲ 補足事項

- 輪作体系での複数品目は品目ごとに上限適用
- スマート農業認定で追加100万円支援あり

● 問い合わせ

制度詳細	https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/midori_kouhukin.html
技術詳細	https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/green/index.html
お問い合わせ	農林水産省 農産局技術普及課 TEL：03-3501-3769 ※事業説明資料を確認の上、お問合せください。